

REACHにおける紫外線吸収剤規制の動き

— UV-328 —

あらたに、REACH規制に登録される「UV-328」の分析が可能です
(定量下限値 10 ng/g)

プラスチック製品は紫外線により色の変化や強度低下がおこり、劣化していきます。ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤は、これらの劣化を防ぐ性質を有する事から、樹脂に添加する事で製品の耐久性が上がり、様々な分野で使用されています。

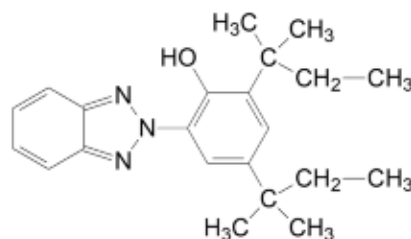
しかし、難分解性や生物蓄積性を持つため、REACH規則の高懸念物質候補リストから正式に付属書XIV(認可対象物質リスト)に登録される事になりました(2022年5月申請期限)。今後、**UV-328**の世界的な製造・輸出入・使用が禁止される可能性があります。

東レテクノでは、下記物質の分析が可能です(定量下限値10 ng/g)。

高懸念物質候補リストから正式に付属書XIV(認可対象物質リスト)に登録される物質

2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ペンチルフェノール
(UV-328)

[CAS : 25973-55-1]



分析フローの概要



その他、様々な材料中の紫外線吸収剤の定量を承ります。